

2014年度
関西学院大学ロースクール

C日程

一般入試（法学既修者）

民法問題

《13:00～14:30》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【民法問題】

以下の<事例>を読み、<設問>に答えなさい。

<事例>

Aは、A居住地の周辺の土地は再開発計画のため高く売れる、との評判を聞いた。そこで、Aは、Aが相続し遺産分割済みのA所有の土地甲（以下、「甲」という。）を売却しようと考えた。AとBは、2013年6月14日に、買主をBとし売主をAとする甲の売買契約を結んだ。代金全額3000万円の支払いは同年7月16日とし、同日、移転登記と引渡しをすることとなった。なお、AとBの売買契約時に甲はAの名義であり、同契約には所有権移転時期の特約はなかったものとする。

<設問> 1

上記の<事例>で、Aは、7月16日当日、甲の移転登記・引渡しの準備をして、合意した時間にBと合意した場所へ行ったところ、Bは現れなかった。Aは、当日Bに連絡を取り「いつでも移転登記・引渡しができる準備をして来た」と告げたが、Bは誠意のある態度を示さなかった。そこで、Aは、Bとの契約を解除したいと考えているが、どのようにしたらいいか。なお、Aが「いつでも移転登記・引渡しができる準備をして来た」と告げた点をも含めて触れなさい。

<設問> 2

上記の<設問> 1と同様の経過の後、7月30日、結局、Aは、Bに対して、Bとの契約の解除の意思表示をした。ところが、Bは、7月12日に既にCに対して甲を売却する契約をCと締結してしまっていた。AとCの関係はどうか。なお、Aの上記解除の意思表示は有効であり、BとC間の契約には所有権移転時期の特約はなかったものとする。

< 設問 > 3

仮に、上記の< 設問 > 2の下線部を、「上記の< 事例 >における売買契約は、後日BのAに対する詐欺によることが判明し、AはBに対して7月30日に取消の意思表示をした。」とする。その場合、< 設問 > 2でのAとCの関係は、どのように変わってくるかを考え、相違する点を複数述べなさい。なお、特に条文上相違する点については、相違する理由も述べなさい。